

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(機能維持の基本方針)

提出年月日:2020年5月22日
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書			指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への反映箇所	備考
1	V-2-1-9	先行審査プラントの記載との比較表(V-2-1-9 機能維持の基本方針)	比P100	2019/11/13	地中構造物について、積雪荷重の考慮の考え方を説明すること。	2020/5/15	回答済	屋外重要土木構造物のうち土被りのある構造物は、積雪荷重を考慮しない設定としているが、その妥当性確認のため、土被りの最も小さい燃料移送系配管ダクトで積雪荷重の有無に関する影響検討を行い、その影響が軽微であることを確認しました。	KK7補足-027-3改1 燃料移送系配管ダクトの耐震安全性評価について 参考資料3	
2	—	V-2-1-9機能維持の基本方針	—	2019/11/13	設計用基準対象施設及び重大事故等対処施設の機能維持の基本方針について、建設時の方針を維持するのか、または先行審査事例を踏襲するのか明確でないので、事業者の考え方を整理して提示すること。		今回回答	先行審査事例(東海第二)の記載を基本としており、より適切な表現等があれば建設時や規格・基準等の記載を引用した記載としています。	—	
3	V-2-1-9	先行審査プラントの記載との比較表(V-2-1-9 機能維持の基本方針)	比P13	2019/11/13	原子炉格納容器の荷重の組合せのうち内圧について、安全側に原子炉格納容器の最高使用圧力に置き換えるのではなく、原子炉冷却材喪失後の最大内圧としていることについて、考え方を説明すること。		今回回答	先行プラントとの設計の方針の差異であり、KK7RCCVの荷重状態IV(異常+地震)時の評価に用いる内圧は、既工認からの変更ではなく、適用規格・基準に準拠し、原子炉冷却材喪失後の最大内圧を用いるものです。	—	